袋井市 教育理念「心ゆたかな人づくり」

袋井市立田原幼稚園

【地域・保護者の実態】
- 自然に恵まれている。
- 園と地域の結びつきが強く、行事への参加にも非常に協力的である。
- 新興住宅化が進んでおり、核家族が多い。
- 少子化に伴い、子どもへの期待が強まる傾向にある。

【教育課題】
- 興味を持ったことに関わり、夢中になって遊ぶ子の育成。
- 自分の思いや考えたことを伸び伸びと表現できる子の育成。
- 様々なことに挑戦する気持ちや、自分の力を発揮する意欲を高めることのできる園生活の工夫。
- 地域の教育力の活用と地域人材との連携。

【園児の実態】
- 穏やかで優しい幼児が多い。
- 人に頼って行動する傾向が強い。
- 人との関わりを素直に喜ぶことができる幼児が多い。
- 特性をもった園児も受入れられる寛容な
- 集団の場では遠慮して自己主張できない傾向が強い。
- 競争心が乏しく、がむしゃらに取り組むところまでできない。

【園目標】 元気な子　優しい子　逞しい子

【研修のテーマ】
自ら「やってみよう」と夢中になって遊ぶ子を目指して～子どもの興味を基にした環境構成の工夫～

【主題設定の理由】結果を認めてもらわないと頑張れていないと思ってしまう園児の表れから、令和７年度は、結果よりも取り組む姿勢やそこに向かうまでの過程を大事に認め、内面の成長に重点をおき、研修を進めてきた。個々に焦点を当て、幼児が表すありのままの姿を受け止めてきたことで心の安定に繋がり、安心して友達と関わる姿に繋がった。しかし、遊びに直ぐ飽きてしまったり、失敗するのを気にしてやるのを断念してしまったりすることが課題として残った。また、環境設定を行う中で、教師が経験してほしい遊びと子どもたちが面白さを感じるものが異なるのではないかという反省も上がった。そこで、「自らやってみようと夢中になって遊ぶ子を目指して」を本年度の研修主題とし、「幼児の興味を基にした環境構成を行うことが、自ら環境に関わって遊ぶことにつながり、夢中になる程楽しいと感じて遊ぶ子になるのではないか」という考えを軸に日々の実践をすることで、主題に迫りたい。

【具体的な取り組み】

遊び・活動

- プロジェクト保育（様々な遊びを知る）
- リズム運動
- 話し合いの活用
- 他園との交流
- 幼少連携活動の推進
- 複合教育による意図的な異年齢交流
- 身近な地域交流
- 基本的生活習慣の確立

興味を探る、細かな観察、10 の育ち、発達に応じた遊び

教師の配慮

- ボイスシャワー
- 発達段階を押さえた見取
- 興味を引き出す環境づくりの工夫
- 幼児の思いを見える化（HP、ドキュメンテーション）
- 十分な時間と場の確保
- 異年齢児との関わりを意識した広い視野
- 翌日に繋がる振り返り
- 行事、生活の見直し（ゆとりある生活時間の確保）

見取る基準の平準化・情報共有・園内研修の充実

一人一人の育ちや興味を支えるために

保護者との連携
- 対話の充実、面談実施
- ドキュメンテーション
- 子育て支援
- 家庭での温もりづくり
- ボイスシャワー
- アンケートによる評価

職員間の連携
- 対話の充実
- 情報の共有化
- 振り返り研修（個の興味・成長を見取り）
- 記録の工夫、共有（妥当性・信頼性を高める）

専門機関との連携
- 支援方法についての相談
- 公開保育
- 幼小中一貫教育（袋井あやぐも学園）
- 園内研修の充実と研鑽